

たつみコータロー

党大阪府暮らし・雇用対策委員長

今年もよろしく お願い申し上げます

参議院・大阪選挙区



36歳

米エマールソン大学映画学科卒。コンピュータ高生生の日本招聘プロジェクト事務局次長。此花生活と健康を守る会事務局次長、全大阪生活と健康を守る会連合会常任理事。此花博愛会理事など歴任。2010年ラジオ派遣村村長代理で活動。2003年・07年・11年の大阪府会議員選挙・此花区に連続立候補。



日本共産党田尻町議員団

小川ゆうじ よしかい育子

一般質問



来年度予算で「一般住宅用太陽光発電パネル」の設置に補助金の導入を 吉開議員

「太陽光発電システム」の価格は年々低下傾向にあります。これにより、減価償却期間が短縮され、市場では太陽光発電が普及する土壌は相当成熟してきていますと推察されます。よって田尻町では、今しばらく国の補助制度、電力買取価格やシステム価格の推移などの情勢を見極める必要があると判断しており、来年度予算での導入は考えていません。」などと答弁がありました。

来年度予算での補助導入は考えていない 町当局の答弁

吉開議員は11月、自宅に太陽光発電パネル21枚設置し太陽光発電システムを導入しました。出力は、5・355キロワット、国から1キロワットあたり3万円の補助を受け、約16万円が設置費用から値引きになったことをあげ、田尻町からの補助があれば、より設置者の負担軽減になり、自然エネルギーへの転換がすすむので、来年度予算で補助金導入を求めました。



現在、国から1キロワットあたり3万円の補助
＋
府内約4割(17)の自治体が補助を実施

近隣では	1キロワット当たりの補助額と上限
熊取町	2万円で上限8万円
貝塚市	3万円で上限22万円
岸和田市	2万5千円で上限10万円
泉大津市	3万円で上限9万円
堺市	7万円で上限28万円

(昨年11月30日現在 太陽光発電普及拡大センターのHPより)

設置者である住民の負担軽減、
自然エネルギーへの転換がすすむ

“この声”に原町長はどう答えますか？小川議員

「田尻町の保育所に入りたい」と町外の保育所入所を拒否した保護者
今年度 14名 (役場では“自己都合で待機”と言われていました)

「現時点でどこか、示せというものは、非常にまだ難しい」と副町長が答弁しました。

「平成27年度をピークに減少していく傾向とみている。」として、従来の方針で対応可能だと答弁しました。小川議員は「経済悪化で少子化のなかでも、高まる保育ニーズを見ていない」と批判。同時に、「満杯の保育所で、絶対に事故は起こしてはならない」とただしました。

広域入所や施設の工夫で受け入れは対応できていけるものと考え
町当局の答弁

「もう一度人数・部屋とかを最初から考え直して4年生を預かるようにしていきたい。5年生・6年生の要求については、学校等ともいろいろと協議させていただいて、保護者も入って、先生が安全に見ていただけるような体制をつくっていきたい。」などと原町長は答弁しました。

もう一度考え直して 4年生まで預かるようにしていきたい 原町長の答弁

「はっきり言って、あきれています。女性の社会進出を…」を公約にあげておいて、票かせぎにすぎなかったのか?!と怒りにさえも覚えます。学童の拡大、「4年生だけでも…」という要望への回答にもガッカリだったのに、今度は「不可能、考えていない」残念です。私は本当にもう仕事をやめたいといけなく考えています。期待していたのに。小学生だけを家において、夏休み等は特に丸一日です。とても仕事なんていけませんよね。私は6年生まで長期休暇時だけでもお願いしたい派です。やっぱり社会進出なんて無理なんですかね!!

吉見 30歳代 女性

※町民アンケートは全部で29通のご回答。党議員団のHPで公開。

共産党議員団が実施した(昨年10・11月)第10回「私の願い聞いてよ」町民アンケートに寄せられた声

日本共産党田尻町支部と議員団は、議会報告と見解を発表しました。

小川・吉開 検索

ご意見・ご質問などはHPからもお願いします

なんでも相談所 465-9939

なんでも相談は
毎週・月・水・金の
午前10時～正午

毎月第2金曜日
午後6時～8時
無料 弁護士相談